

「全国学力・学習状況調査」平均正答率東京都との差				「江戸川区学力調査」平均正答率全国との差								
学年	第6学年			学年	第3学年		第4学年		第5学年		第6学年	
年度	国語	算数	合計	年度	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
令和12年度の目標				令和12年度の目標								
令和11年度の目標				令和11年度の目標								
令和10年度の目標				令和10年度の目標								
令和9年度の目標				令和9年度の目標								
令和8年度の目標	0	0	0	令和8年度の目標	0	0	0	0	0	0	0	0
令和7年度の結果	-7	-8	-15	令和7年度の結果	-10.6	-12.1	-1.7	-3.7	-3.3	-4.1	-5.0	-7.5
令和6年度の結果	+3	-2	+1	令和6年度の結果	-2.8	-2.9	-2.1	-3.6	-3.1	-3.5	0.5	0.7
令和5年度の結果	-7	-13	-20	令和5年度の結果								

年度	令和7年度	令和8年度
内容	成果と課題	目標 目標達成に向けた取組
学校全体	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「伝え合い」をテーマにした授業研究に取り組み、様々な教科における話し合いの基本的な仕方を児童に定着させることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全国学力・学習状況調査の結果から、算数科では、「測定」、「図形」の得点率が低かった。国語科では、文章を読んで心に残ったことその理由をまとめて書く問題や、語彙や言葉に関する問題の得点率が低かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○算数科の学習では、具体物を用いて児童が視覚的に情報を得られるような授業を展開し、「測定」、「図形」の得点率を都平均に近付ける。 ○国語科の学習では、文章を短くまとめたり、要約したりする活動や、言葉集めなどの活動を取り入れ、得点率を都平均に近付ける。 <p>・授業力向上委員会を中心に、相互授業参観の実践を行い、教員一人一人の授業力の向上を図る。</p> <p>・引き続き「伝え合い」をテーマにした授業実践を通して、確かな学力の育成につながる授業力向上を図る。</p> <p>・年間30回程度の放課後補習教室を展開し、きめ細かな学習支援を推進する。</p> <p>・「江戸川っ子study week」を実施し、学習用タブレットを活用して個別最適な学びの実現を目指す。</p>
第1学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○様々な分野において、友達同士で教え合って課題解決する姿が見られた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○書字や語彙力に課題が多く、既習漢字を正しく丁寧に書くことが難しい児童が3割程度見られる。 ○根拠強く学習に取り組む姿勢に課題があり、途中で諦めてしまう児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○8割程度の児童が既習漢字を正しく丁寧に書くことができるようになる。 ○全児童が、最後まで根拠よく学習活動に取り組めるようにする。 <p>・音読の課題や読書科の時間を活用し、児童の語彙力を高める。</p> <p>・都度課題設定や振り返りを行うことで、児童が自信をもって学習できる環境を設定する。</p>
第2学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習意欲が高く、すすんで友達と教え合ったり、積極的に発言する児童が多い。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○書字や語彙力に課題が多く、既習漢字を正しく丁寧に書くことが難しい児童が2割程度見られる。 ○集中力の継続に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○9割程度の児童が既習漢字を正しく丁寧に書くことができるようになる。 ○全児童が最後まで集中して学習活動に取り組むことができるようになる。 <p>・音読の課題や読書科の時間を活用し、児童の語彙力を高める。</p> <p>・児童の実生活に関連付けた課題設定を行うことで、児童が興味をもって主体的に学習に取り組みやすい環境を設定する。</p>
第3学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習意欲が高く、すすんで友達と教え合ったり、積極的に発言する児童が多い。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○書字や語彙力に課題が多く、既習漢字を正しく丁寧に書くことが難しい児童が3割程度見られる。 ○集中力の継続に課題がある。 ○根拠をもって自分の意見を述べることが難しい児童が5割程度見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○9割程度の児童が既習漢字を正しく丁寧に書くことができるようになる。 ○全児童が集中して学習活動に取り組むことができるようになる。 ○7割程度の児童が根拠をもって自分の意見を述べるようになる。 <p>・音読の課題や読書科の時間を活用し、児童の語彙力を高める。</p> <p>・児童の実生活に関連付けた課題設定を行うことで、児童が興味をもって主体的に学習に取り組み、集中して授業に取り組むことができるようにする。</p> <p>・教師の発問やワークシートを工夫し、全児童が根拠をもって自分の意見を述べるようになる。</p>
第4学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えを書き出したり、作文したりすることへの意欲が高い。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○多数ある情報から必要な事項を選び取ることが難しい。 ○文章を簡潔にまとめることが難しい児童が3割程度見られる。 ○根拠をもって自分の意見を述べることが難しい児童が4割程度見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○必要な情報を選び取ることのできる力を児童に身に付けさせる。 ○8割程度の児童が文章を簡潔にまとめることができるようになる。 ○8割程度の児童が根拠をもって自分の意見を述べるようになる。 <p>・学習カルテを活用し、苦手を把握し、ドリルパーク等で復習することで、基礎学力の定着を図る。</p> <p>・「YOMUよむワーク」や教材文を活用し、文章を要約する活動を国語の授業に取り入れ、全児童が必要な情報を選び取ったり、文章を簡潔にまとめることができるようになる。</p> <p>・教師の発問やワークシートを工夫し、全児童が根拠をもって自分の意見を述べるようになる。</p>
第5学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○探求心が高く、自分たちで課題を設定し、解決に向けて活動内容を考えることができている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○書字や語彙力に課題が多く、既習漢字を正しく丁寧に書くことが難しい児童が3割程度見られる。 ○根拠をもって自分の意見を述べることが難しい児童が3割程度見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○8割程度の児童が既習漢字を正しく丁寧に書くことができるようになる。 ○8割程度の児童が根拠をもって自分の意見を述べるようになる。 <p>・学習カルテを活用し、苦手を把握し、ドリルパーク等で復習することで、基礎学力の定着を図る。</p> <p>・音読の課題や読書科の時間を活用し、児童の語彙力を高める。</p> <p>・教師の発問やワークシートを工夫し、全児童が根拠をもって自分の意見を述べるようになる。</p>
第6学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えを書き出したり、作文したりすることへの意欲が高く、簡潔に文章をまとめられる児童が多い。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○根拠をもって自分の意見を述べることが難しい児童が3割程度見られる。 ○書き出した自分の意見に自信がもてず、発表することや表現することに対する苦手意識が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○8割程度の児童が根拠をもって自分の意見を述べるようになる。 ○全児童が自信をもって自分の意見を表現できるようにする。 <p>・教師の発問やワークシートを工夫し、全児童が根拠をもって自分の意見を述べるようになる。</p> <p>・児童同士で教え合う機会を多く設けたり、発表形態を工夫したりして、児童が自分の意見を表現しやすい場を整える。</p>